

新秋地総第 1 4 5 5 号
令和 2 年 1 月 3 1 日

秋葉区自治協議会会長
金子 洋 二 様

新潟市秋葉区長 夏目 久義
(秋葉区役所地域総務課)

新津地区市民会館の廃止について（意見聴取）

新潟市区自治協議会条例（平成 1 8 年条例第 7 4 号）第 7 条第 1 項第 2 号の規定により，下記事項について貴自治協議会に意見を求めます。

記

1. 新津地区市民会館の廃止について

新津地区市民会館の廃止について

1. 背景

本市は、様々な公共施設を有しており、市民1人あたりの公共施設保有面積は2.89㎡と政令市平均の1.31倍であり、全政令市のうち最も大きくなっています。将来更新費用の大幅な不足を踏まえ、サービス機能をできるだけ維持しながら、公共施設の総量削減（ハード・ソフト費用の削減、ニーズに合った規模の更新、集約化や統廃合などによる見直し）を更に加速させる必要があります。

2. 新津地区市民会館とは

市民の生活の向上並びに教育及び文化の発展に寄与することを目的に昭和48年に開館した施設で、身近な文化芸術・レクリエーション活動の場として市民に親しまれてきました。

3. 新津地区市民会館の現状と課題

- 平成17年の広域合併後、合併建設計画により秋葉区文化会館や秋葉区総合体育館など、市民会館の旧大ホールに替わる機能を持つ施設が建設されたほか、区内に貸室機能を持つ公共施設が多数建設されてきました。
- 築46年が経過し、これまで増築や改修等を行ってきましたが、施設・設備の老朽化は著しく、施設の快適性も失われた現状があります。

【区内の施設の状況】

開館年	名称	H30 利用率	開館年	名称	H30 利用率
S48	新津地区市民会館	28.30%	H17	金津地区コミュニティセンター	45.50%
S58	新津地区勤労青少年ホーム	42.00%	H22	新関コミュニティセンター	20.90%
S58	荻川コミュニティセンター	43.50%	H22	新津地域交流センター	42.60%
H2	小須戸地区ふれあい会館	11.20%	H25	秋葉区文化会館	39.80%
H5	新津健康センター	28.30%	H25	秋葉区総合体育館	47.00%
H9	新津地域学園	22.40%	H27	小須戸まちづくりセンター	28.60%
H14	小合地区コミュニティセンター	24.10%			

【施設の維持費用】

内訳	概算費用	備考
①修繕・工事 (今後の見込み)	92,713千円	外壁・屋外防水等改修費(62,313千円) 電気設備関係の更新費(30,000千円弱) PCB処分費(400千円/～H39)
②維持管理	7,228千円	収入2,333千円－支出9,561千円＝▲7,228千円(R2予算)

4. 廃止後の施設利活用方法案

施設を取り壊し、区役所や総合体育館の共有の駐車場として活用する。

5. 今後のスケジュール

年月	行程
令和2年3月	新津地区市民会館施設廃止方針策定
令和2年6月	施設利用者・団体へ施設廃止について説明会を開催
～令和6年3月	施設廃止について周知を継続(施設掲示等)